

御報告

拝啓

梅雨の候にもかかわらず、各位におかれましてはますます御清栄のことと、お慶び申し上げます。

さて、この度、私は、高崎経済大学教授・八木秀次氏（日本教育再生機構理事長・フジテレビ番組審議委員）を、名誉毀損で東京地方裁判所に民事提訴することといたしました。

八木氏は、昨年春、「公安調査庁からの情報である」といつわって、私が平成13年に至るまで日本共産党の党員であったという虚偽の情報を流し、雑誌にまで書いて私の名誉を傷つけました。八木氏の言う通りなら、私が「新しい歴史教科書をつくる会」の副会長として『新しい歴史教科書』を執筆し採択戦をたたかった時期、私は自分の身分を隠し、会員や賛同者、国民の皆様を裏切っていたことになるからです。

これは「公安調査庁」という公的機関の名前を私的目的のために公然と悪用する行為です。これによって私自身が深刻な精神的打撃、いわれなき誤解を受けたばかりでなく、私が代表執筆者を務める『新しい歴史教科書』が同一出版社から継続発行されないという事態の遠因をつくりました。

八木氏はその後も、「公安調査庁情報である」という言い分を盾に上記虚偽情報を訂正せず、これがために、本年五月、私が「つくる会」会長に就任した直後から、再び、公開電子情報等の場に於いて、私が共産党員ないし共産主義者であるという誹謗・中傷が行われております。

こうしたことから、私の名誉を回復するとともに『新しい歴史教科書』の存続を守るために、まずは民事の場で八木氏を訴えた次第です。

「なぜ今になって？」という御疑念を抱かれるかもしれませんが、先頃扶桑社から次回教科書製作についての最終回答が示されるまでは、「つくる会が世に問うた『新しい歴史教科書』を絶やしてはならない」という使命感から、諸般の事情を斟酌して、隠忍自重を続けざるを得なかった、というのが真相です。

しかし、ここに至り、もしこのまま身の潔白を明らかにしないで放置しておく、今後

「つくる会」があらたな道を歩み出すについて理不尽な障碍をさまざま惹起するおそれが多々あるであろうことを予感するようになりました。

私の今回の提訴は断じて「内紛」などではありません。法治国家において、余りに不当に侵害された私の名誉を回復するための止む得ざる防御であることを、加えて申し述べさせていただきます。

名誉を謂われなく毀損されたという事実については法廷の場で順次明らかにしたうえで、近い将来、改めてその詳細を御報告できるものと信じております。

ようお願いを申し上げます。

末筆ながら、暑さに向かう折から、各位のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

藤岡信勝 拝呈

平成十九年七月十日

有識者各位